

葛飾区

# 緑化推進協力員だより

第45号



2022年3月 葛飾区緑化推進協力員会  
協力 葛飾区環境部環境課緑と花のまち推進係

## 【表 紙】

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催中の臨海副都心で  
撮影しました

【上】 ミライトワ・ソメイティの花のオブジェとフラワーメリーゴーランド

【中】 聖火台とフラワーメリーゴーランド

【下】 「TOKYO2020」フラワーキャンバスとフラワーメリーゴーランド

# 目 次

	題 名	ブロック	氏 名 ニックネーム	ページ
1	活動記録	第1ブロック		1
2		第2ブロック		3
3		第3ブロック		4
4		第4ブロック		6
5	緑を暮らしの友に、2021の四季	第1ブロック	佐々木 定治	7
6	大蓋木（たいざんぼく）	第1ブロック	島村 孝昌	9
7	緑化活動を振り返って	第1ブロック	庄司 典昭	10
8	2021ゴーヤー作り	第1ブロック	引地 詔子	11
10	白鷺とサギソウ	第2ブロック	五十嵐 美鈴	12
11	「曳舟川親水公園」に癒されて	第2ブロック	近藤 文子	14
12	白鳥4公園・環境緑化に参画して	第2ブロック	半田 健二	17
13	朝顔に電波とられて・・・	第3ブロック	下井 守	18
14	私のあこがれの花	第4ブロック	田中 アヤ	22
15	編集後記		編 集 委 員	24



## 第1ブロック活動記録（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
4月11日	にいじゅくプレイパーク	花壇活動	皇帝ダリヤ（2本）地域住民から寄贈、植え付け
4月17日	新柴又駅前	花壇活動	植え替え
4月24日	フロリス花壇	花壇活動	植え替え
5月 9日	原田小学校	花壇管理、花壇整備	花柄摘み、花壇整地
5月16日	原田小学校	夏秋花の植え込み	ペチュニア苗等を植える
5月23日	都立水元公園	調査・研修	事前観察・調査等自己研修
5月31日	金町駅南口花壇	冬花撤去と植え替え	肥料、赤玉土、腐葉土追加
6月 2日	自宅 Zoom	生物多様性情報交換会	生物多様性に関する会議
6月 7日	金町駅南口花壇	管理植え付け	ペコニア、ジニア等
6月12日	にいじゅくプレイパーク	管理植え付け	ペチュニア、スーパーサルビア等
6月12日	フロリス花壇	花壇活動	植え替え
6月19日	水元中央公園	花壇活動	植え替え
6月20日	新柴又駅前	花壇活動	植え替え
6月22日	区立中学校	理科講師としての授業	葛飾区の緑化について
6月23日	清水農園	プロジェクト 12 会議	花壇意見交換
6月30日	私立保育園	緑化整備	私立保育園の緑化整備
7月 6日	金町地区センター	ブロック会議	令和3年度活動計画等
7月10日	都立水元公園	研修会	自然環境レポーター観察研修
7月14日	自宅 Zoom	生物多様性情報交換会	生物多様性に関する会議
7月24日	柴又公園	花壇活動	草取り
8月11日	ウイメンズパル	環境基本計画策定委員会	葛飾区環境基本計画策定
9月 1日	水元 2 丁目観察	水元 2 丁目緑化観察	緑化推進だより 45 号写真撮影
9月 8日	にいじゅくプレイパーク	花壇活動	シンビシューム（8株）クンシラン（2株）ジンジャー（10株）地域住民から寄贈、植え付け
9月14日	区立中学校	理科講師としての授業	葛飾区の緑化について
9月21日	新小岩	レポーター活動	花いっぱいレポーター活動
9月27日	私立保育園	生物多様性トランプ講師	生物多様性生き物トランプ
9月28日	清水農園	プロジェクト 12 会議	冬花植え付け会議
10月18日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはがきコンクール審査会	清水副ブロック長 審査員として参加
10月19日	清水農園	プロジェクト 12 会議	冬花植え付け会議
10月21日	自宅 Zoom	コンクール審査会	環境日記録の小道審査
10月23日	水元 2 丁目観察	水元 2 丁目緑化観察	緑化推進だより 45 号写真撮影

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月23日	江戸川土手のり面 芝桜	花壇活動	草取り
11月 1日	金町駅南口花壇	管理植え付け	ビオラ、キンセンカ、イベリス等
11月 6日	感謝状受領 前田氏	東京都教育委員会	学校活動環境整備支援部門
11月13日	フロリズ花壇	花壇活動	植え替え
11月14日	原田小学校	冬用花壇作成	花柄摘み、赤玉土、腐葉土追加
11月14日	水元中央公園	花壇整理	夏花の処分
11月15日	区立中学校	理科講師としての授業	葛飾区の緑化について
11月17日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはがきコンクール表彰式	清水副ブロック長 立会人として参加
11月20日	新柴又駅前	花壇活動	植え替え
11月21日	原田小学校	冬花の植え込み	パンジー等を植える
11月26日	区立小学校	出前授業	生物多様性に関する出前授業
11月28日	柴又公園	柴又チューリップいっぱい	チューリップ植え付け
11月29日	清水農園	園芸教室	底面給水の寄せ植え 講師：清水副ブロック長 受講者 20名
11月30日	水元3丁目	水田管理	稲わら整理・冬水田んぼ管理
12月 2日	金町駅南口花壇	管理植え付け	チューリップ植え付け、150株
12月 5日	新小岩周辺	レポーター活動	花いっぱいレポーター活動
12月 6日	にいじゅくプレイパーク	管理植え付け	チューリップ球根、ビオラ、パンジー等
12月23日	にいじゅくプレイパーク	管理植え付け	チューリップ球根
12月 7日	水元中央公園	花壇管理	パンジー等植え付け
12月 8日	水元3丁目観察	水元3丁目緑化観察	緑化推進だより 45号写真撮影
12月14日	水元中央公園	花壇管理	チューリップ植え付け
12月15日	自宅 Zoom	生物多様性情報交換会	生物多様性に関する会議
12月22日	ウイメンズパル	緑化推進協力員活動等 報告会	活動報告他
12月24日	水元公園	自然観察・研修	緑化観察自己研修
12月29日	水元中央公園	花苗管理	花摘み
1月20日	リモート	生物多様性情報交換会	生物多様性に関する会議
1月22日	にいじゅくプレイパーク	花壇管理	皇帝ダリア剪定
1月30日	新小岩周辺	レポーター活動	花いっぱいレポーター活動
2月 6日	自宅	報告書作成	花レポーターメール報告と緑化報告
3月 5日	フロリズ花壇	花壇活動	植え替え
3月 7日	金町駅南口花壇	補え植け	ハナカンザシ、シレネ等
3月12日	新柴又駅前	花壇活動	植え替え
3月25日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
3月27日	柴又公園	柴又チューリップいっぱい	柴又河川敷で植え付けしたチューリップを鑑賞



## 第2ブロック活動記録（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
4月 13日	白鳥四丁目公園花壇	冬花花壇片付け	2名参加
24日	白鳥四丁目公園花壇	堆肥、施肥	2名参加
5月 5日	白鳥四丁目公園花壇	ペチュニア植え付け	
20日	白鳥四丁目公園花壇	看板設置（犬のフン片付け）	
6月 6日	白鳥四丁目公園花壇	草花植え付け	ゼラニウム他植え付け 3名参加
16日	白鳥四丁目公園花壇	花壇手入れ	1名参加
23日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
7月 1日	白鳥四丁目公園花壇	花壇管理	大雨後の清掃・点検
6日	白鳥四丁目公園花壇	研修	10名参加
6日	白鳥集い交流館	ブロック会議	3年度活動計画等
20日	白鳥四丁目公園花壇	草花植え付け	種から育てたコキア植え付け 1名参加
8月 11日	白鳥四丁目公園花壇	花壇管理	強風後の清掃・点検 1名参加
22日	白鳥四丁目公園花壇	花壇手入れ	
9月 13日	白鳥四丁目公園花壇	花壇管理	台風後の点検（掃除等）2名参加
28日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
10月 3日	白鳥四丁目公園花壇	水やり、除草	1名参加
18日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはがき コンクール審査会	近藤ブロック長会長代理として、松野副ブロック長、松坂副ブロック長 審査員として参加
19日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
21日	白鳥四丁目公園花壇	花壇整備	2名参加
11月 1日	区役所屋上見本園	園芸教室	多肉植物の寄せ植え 講師：近藤ブロック長 受講者20名
12日	白鳥四丁目公園花壇	草花植え付け	チューリップ植え付け（堆肥、肥料、薬剤を搬入して土づくり）
17日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはがき コンクール表彰式	松野副ブロック長 立会人として参加
28日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷でチューリップ植え付け
12月 3日	白鳥四丁目公園花壇	草花植え付け	パンジー、よく咲くスミレ、アネモネ、ヒューケラー植え付け
22日	ウイメンズパル	緑化推進協力員活動等報告会	活動報告他
27日	白鳥四丁目公園花壇	花壇管理	霜柱で球根が押し上げられ、埋め直す 参加者1名
3月 25日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
27日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷で植え付けしたチューリップを鑑賞

白鳥四丁目公園花壇

・毎月曜日 午前中 除草、清掃、花摘み作業、水やり 半田協力員他

### 第3ブロック活動記録（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
4月 10日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者7名
5月 8日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者5名
6月 5日	渋江公園	花壇管理	花壇手入れ 参加者5名 植え付けのため耕作
11日	ブロック長宅	花苗等受領	サンビリーバブル, コリウス, ペチュニア, アン グロニカ, ペンタス, ダリア, スーパーサルビア, ラベンダー 計11トレー, 培養土, 腐葉土, 赤 玉土, 苦土石灰, ゴム手袋等
12日	渋江公園	花壇管理	参加者7名 花苗植え付け
13日	渋江公園	花壇管理	参加者3名 花苗植え付け
23日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
7月 5日	東四ツ木地区センター	ブロック会議	令和3年度活動計画等 出席者10名
10日	渋江公園	花壇管理	参加者6名
24日	渋江公園	花壇管理	参加者1名
8月 14日	渋江公園	花壇管理	雨のため中止
28日	渋江公園	花壇管理	参加者3名 花苗植え付け
9月 11日	渋江公園	花壇管理	参加者5名
25日	渋江公園	花壇管理	参加者4名
10月 8日	区役所屋上見本園	園芸教室	苔玉づくり 講師：江良副ブロック長 受講者20名
9日	渋江公園	花壇管理	参加者3名
18日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはが きコンクール審査 会	下井ブロック長、高口副ブロック長 審査 員として参加
19日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
23日	渋江公園	花壇管理	雨のため中止
11月 13日	渋江公園	花壇管理	参加者3名
17日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはがき コンクール表彰式	下井ブロック長 会長代理として参加 江良副ブロック長 立会人として参加
20日	渋江公園	花壇管理	参加者6名 植え付けのため耕作
28日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷でチューリップ植え付け
12月 1日	ブロック長宅	花苗等受領	パンジー、よく咲くスミレ、アネモネ、ス トック、イベリス、スーパーアリッサム、 クリスマスローズ 計13トレー、腐葉土、 苦土石灰、ゴム手袋など
4日	渋江公園	花壇管理	参加者8名 花苗植え付け
11日	渋江公園	花壇管理	参加者4名
22日	ウイメンズパル	緑化推進協力員活 動等報告会	活動報告他。第3ブロックから出席者7 名
25日	渋江公園	花壇管理	参加者3名

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
1月 8日	渋江公園	花壇管理	参加者1名
1月 22日	渋江公園	花壇管理	参加者2名
2月 12日	渋江公園	花壇管理	参加者2名
3月 25日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
27日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷で植え付けしたチューリップ を鑑賞

ラベンダー、ダリア、クリスマスローズ、アネモネなど多年草の植物を少しずつ増やしている。7月のブロック会議以降、渋江公園での花壇管理の活動を第2土曜日に第4土曜日を加えた。それ以外に週1～2回の散水を随時行った。

ガーデンプロジェクトには第3ブロックから下井、江良の2名が参加。



第4ブロック活動記録（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
4月 21日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
5月 26日	細田グリーンバンク	花苗植え替え	新規苗到着
6月 9日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
23日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
7月 5日	高砂地区センター	ブロック会議	令和3年度ブロック活動計画など
14日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
8月 11日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
9月 8日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
10月 13日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
18日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはがき コンクール審査会	大塚ブロック長、小池副ブロック長 審査員として参加
19日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
21日	奥戸		鈴木協力員の畑にて芋ずる採取
27日	ウイメンズパル	園芸教室	芋づるでクリスマスリースを作ろう 講師：小池副ブロック長 受講者 20名
11月 17日	ウイメンズパル	葛飾花と緑のはがき コンクール表彰式	大塚ブロック長 小池副ブロック長 立会人として参加
28日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷でチューリップ植え付け
12月 15日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇植替え チューリップ 140株
22日	ウイメンズパル	緑化推進協力員活 動等報告会	活動報告他
1月 12日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
18日	新小岩間栗公園		花壇植替え
29日	鎌倉町まんだら公園		花壇植替え
2月 9日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
3月 9日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇手入れ
25日	清水農園	プロジェクト12会議	花壇意見交換
27日	柴又公園	柴又チューリップ いっぱい	柴又河川敷で植え付けしたチューリップ を鑑賞
通年・第2水曜日	細田グリーンバンク	花壇手入れ	植付け等、花壇全般管理

# 葛飾区緑化推進協力員だより 45号に寄せる

第1ブロック

佐々木 定治

## 緑を暮らしの友に、2021の四季



①フジ 4/3 水元4丁目



②アジサイ 5/30 水元2丁目



③花いっぱいと連携 6/5 新小岩



④クスノキ 7/24 水元公園

⑤イネの花 8/7 水元3丁目



緑を暮らしの中に取り入れることは、日々の生き方に潤いをもたせ、心豊かさを添えることです。緑は人間が育てるものでもあります。

葛飾区では、「緑の目標」を定めて緑化の推進維持を進めています。緑被率 20.0%にすることを目標として緑化推進をしているのです。

緑被率の内訳を調べてみると、「対象となる地域で、樹木・草地・農地・公園などの緑でおおわれる土地の面積割合を表す指標」です。私は協力員として微力ながらその推進維持に参画しています。





⑥コキア 9/1 水元2丁目



⑦サクラ 10/23 水元2丁目



⑧ 稲わら 11/30 水元3丁目



⑨冬水田んぼの整理 11/30 水元3丁目



⑩ 栗の葉の初冬 12/8



⑪ 緑化推進協力員活動報告会 12/22 ウイメンズパル

私は緑化協力員として、自分なりに緑化推進維持に関する自己研鑽をしています。ここ2年にわたりコロナ禍の影響により密を避ける活動をせざるを得ない状況であり、その意味において活動エリアを日常生活範囲に限って進めています。この状況下であっても自然の季節感は十分に獲得できるのです。4月から5月の鮮やかな紫(①②)・初夏に花いっぱいの植栽レポート(③)・盛夏にはクスノキが大空に大木の葉を翻し(④)・初秋のイネの風媒花(⑤)・今は緑でも季節が進むと見事に紅葉するコキアの実は、植物キャビア(⑥)・この時期に咲き始める桜に今年も巡り合い(⑦)稲刈り後の稲わらを活用したり、冬水田んぼの管理(⑧⑨)・12月の栗の葉はいまだに落葉せず(⑩)そして今年の12月の協力員活動報告会では、「東京2020大会参画プログラム」としての「花いっぱいでおもてなし」に関しての見事な報告をいただき感動です(⑪)。こうして緑に支えられ、緑を守り、育てる活動をこれからも協力員として推進していきます。





## 大蓋木（たいざんぼく）

第1ブロック 島村 孝昌

誰かが花の三大香りは梔子・沈丁花・金木犀だと言っていた。

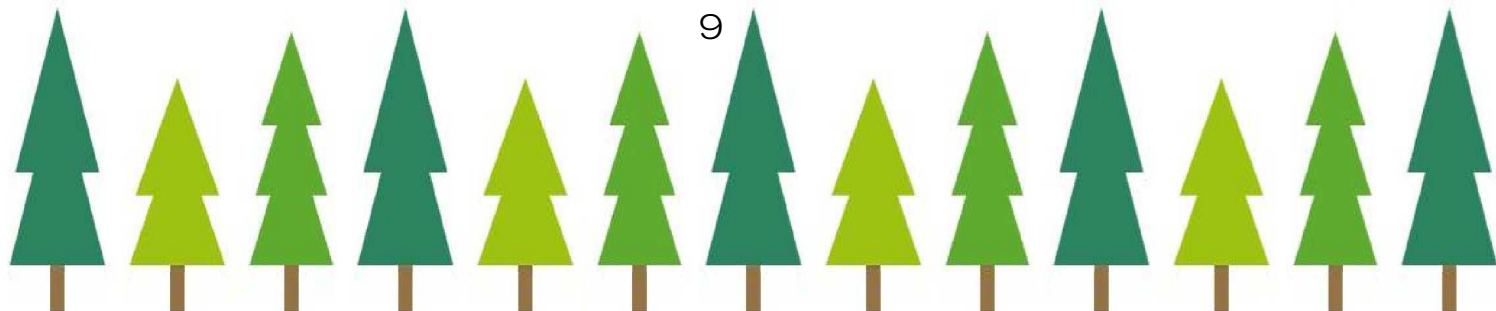
皆さん大蓋木を知っていますか。私は花の香りの横綱、いや女王は、大蓋木だと信じている。もちろん人それぞれの好みはあるでしょう。

もう二十数年前になるが、我家の庭に大蓋木の大木があった。ちょうど庭の真ん中で濃い緑の大きな葉の繁みの中に純白の肉厚な大輪が燦然と咲き、そして、目の眩むような強烈な芳香を撒散らしていたのだ。部屋でその芳香を楽しもうと飾るが、半日で萎える花だった。

その大蓋木のある庭を駐車場にするため、どうしても伐採することになってしまったのだが、本当に残念だった。

花の咲く時季はちょうど梅雨時だ。その頃になるとあの清らかな純白の大輪と神秘的でもある芳香を懐かしく思い出すことがある。

大蓋木は葉も花も大きいため、庭には好まれないようだ。公園、神社、寺等に大蓋木の大木があったらぜひ教えて下さい。



## 緑化活動を振り返って

### 第1ブロック 庄司 典昭

今期は新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛制限となり、予定された活動計画等が中止になりました。新人の私としては、緑化活動全般への理解やグループ会員との交流もままなりませんでした。

その様な状況の中、令和2年、3年の「柴又チューリップいっぱい2020」に参加し、活動団体



の多さや、葛飾区の積極的な取り組みに驚きました。柴又河川敷が、毎春チューリップの花壇で益々賑わうように、また、将来的には子供会中心にチューリップが溢れる町会になるとよいと思いました。

昨年、区役所屋上ガーデンの「花壇管理講習会」(12月)に参加しました。花壇管理の基礎知識を学ぶ会で、専門知識を有した「ガーデンプロジェクト12」の方々による花壇デザインのコンセプト説明とその構想による草花と資材の選定、配置計画、害虫防除、土壌改良等を学び、千葉大学渡辺先生のご指導により、素人の私でも作業手順がよく理解できました。

感謝。



## 2021ゴーヤー作り

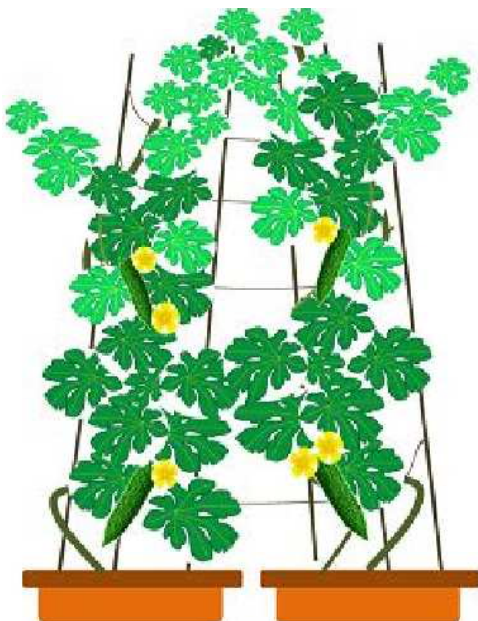
### 第1ブロック 引地 詔子

今年の天候は7月の長雨で日光不足で苗はぐんぐん伸びて、みごとな緑のカーテンになり、夏の暑さにとっても良かったのです。

ゴーヤーを楽しもうと思ったのです。花はたくさん咲きましたが、実つきが悪くて小さく、実は、早くに黄色になってしまい大きくなれなかったのです。友達に聞いても同じようでした。

やっぱり天候のせいかしら。自然を相手にする

ことは大変なことですね。農家さんなど仕事にしている方の苦勞が思われます。



花にも同じような事がありました。冬なのに春の花が咲いています。サツキ、サクラ、シャクナゲなど水元公園で見つけました。来園された方もどうして今なのかとびっくりしています。それは気候の関係でしょうか？そういう花を見たら、花達のことを時知らずというと教わりました。きれいな言葉ですね。

私は気に入っているので聞かれたら話しています。なるほどと感心してもらっています。

.....\*.\*.\*.\*.....

## 白鷺とサギソウ

### 第2ブロック 五十嵐 美鈴

令和4年1月2日朝、私が曳舟川親水公園を歩いていると草むらから、まっ白な1羽の鳥が飛び立った。いったいどこに行くのかと目線で追うと、近くの家々の2階の出窓の屋根に舞い降りて、こちらを見ている。

その姿はオーラがあり、とても美しいと思った。少し近づいてみると白鷺だった。私は花が大好きだった母が、花友達から頂き大切に育てていた「サギソウ」のことを思い出した。母から「サギソウは白鷺が羽を広げて飛ぶ美しい姿に似ている



ので、その名が付いたのよ。」と教えてもらった。昔は普通に自生していたが、今は環境破壊が進み、私はあれからサギソウを見たことがない。サギソウのことを知りたいと思い調べることにした。

### 「サギソウ」 ラン科サミズトンボ属

#### (自生地)

熱帯から亜熱帯。湿地に生える野生ランの代表種

#### (特徴)

サギソウは白鷺が羽を広げて飛ぶ美しい姿に似て、端正な清楚さにあふれる人気



種です。古くは人里近くの湿地にごく普通に自生したようですが、宅地造成などが進んで自生地が少なくなり、準絶滅危惧種に指定されている。地下の球茎から走出枝を出してその先に新しい球茎を宿し、古い球茎が枯れて毎年新しい球茎に更新する。

### **(栽培のポイント)**

鉢植えでは、毎年地下の球茎が更新されて球茎が鉢深く潜る性質があるので、毎年春に上に出す目的を含めて植え替える。植つけは水もちのよい用土を用い、植え替えは毎年2月中旬から3月中旬に行う。芽出しから葉が枯れるまでは日なたに置き、冬期は凍結から保護する。水やりは土の乾きを見てたっぷりを与え、乾きすぎる場合は腰水で補う。植えつけ後に固形肥料を少量、鉢の縁に置き肥し、花後にも追肥する。



### **(殖やし方)**

主に植え替え時の分球で殖やす。

### **(露地栽培)**

ウイルス病で、露地植えは難しい。

### **【参考文献】**

(決定版) 山野草の楽しみ方 2012年4月23日第1刷発行

(著者) 久志博信 (ひさしひろのぶ)

(発行所) 株式会社講談社

.....\*.\*.\*.\*.....

## 「曳舟川親水公園」に癒されて

### 第2ブロック 近藤文子

春夏秋冬、四季が巡る日本に生まれ育ち、一生を送ることが出来ることにつくづく幸せを感じる。

今だ戦場にあり、あるいは極寒、極暑に生き、短い生涯を終える人々も数知れない中、何と幸せなことであろう。

病を患った後、約一年半余り。「有酸素運動」とやらが大切と指導を受け散歩を始めた。往復十五分程度から徐々に増やして、現在、亀有からお花茶屋駅までの一時間間を一日の締めとして散歩している。

初めは、身体のためとの義務感があり、「もう引き返そう」と、途中でさっさと方向転換し戻ることが多かった。つまりは、永続きしないと思っていた。私の本来の姿である「あきらめ」にすぐ納得する本心が現れ始めたのである。

自分の心と脚をだましだまし、ちょっと頑張ってみることにした。視点を変えて「今日歩ける所まで」と目標を曖昧に歩き始めた。作詞をしたり、そのための人や、ふるさとや、たくさんの思い出を頭に浮かべて歩いてみた。

何人かのホームレスが必ず決まった場所において、寝ずくまったり、ラジオを聞いていたり。中には、自転車いっぱいのアルミ缶を積んだ人もいる。ついおせっかいな心が騒ぎがちになるが、ある人が上野でとてもみじめそうなホームレスがいて、何気なく「これで温かいものでも食べてください」と千円札を渡そうとしたら、「バ

力にする気か！」と怒鳴られたという話を聞いて、心痛むがそっと通り過ぎている。

人生悲喜交々の人々の交差していく散歩道。自宅からお花茶屋駅まで三十分の往路、そして復路三十分の計一時間を毎日続けている。

「あきらめ」の早い自分にとって、これは一生で一番自分に「褒美」をあげたい出来事である。

何故、一年近く毎日続けられたのだろうと考えた時、やはり親水公園の四季に癒され、守られていることに気が付いた。

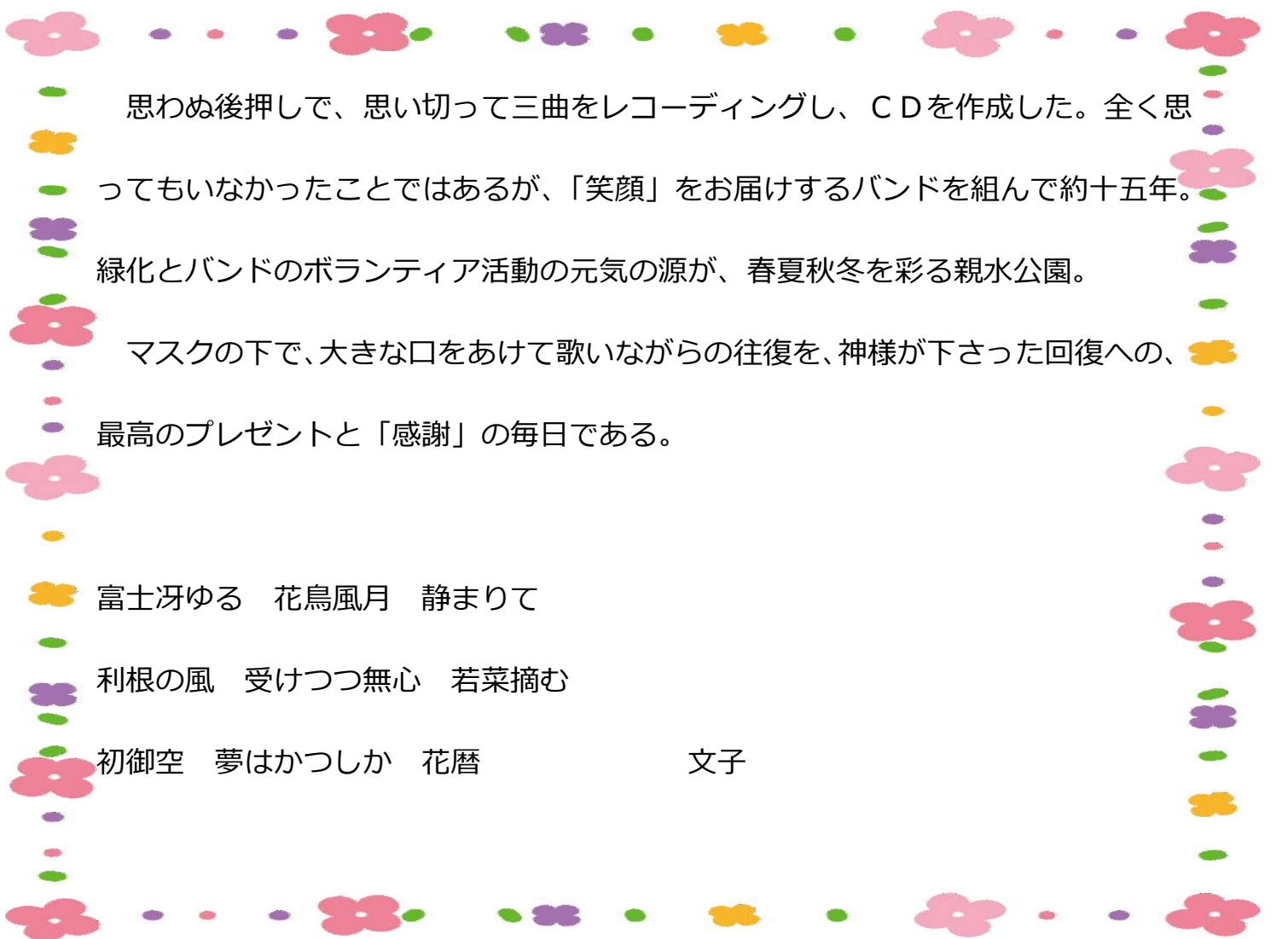
春の桜や小川の音、セリの若葉やレンギョウ、トサミズキの花。そして、ヤナギやヤマモモ等の芽吹きや緑に包まれて歩く。自分が救われているのに気付く。

わずか二日と言われた命が、まだ力強く息をしている。コデマリ、ヤマブキと草花・木の数は多数である。毎日の散歩が待ち遠しくてたまらない。

時には、緑化推進協力員の五十嵐さんと待ち合わせて、プレゼントをいただいたり、転んでケガをしている方の救急車を呼んだり。夏のザリガニ取りの子どもたちや水遊びをする家族連れ。みんな、この曳舟川親水公園を楽しんでいる。

四つ木までの直道は、信号が僅かで、まず危険を感じないこと。両側が車道で夜も、何かあれば助けを求められる人家がある事。そして何よりも名も知らない方々との僅かな会釈、犬の散歩、時には若者同士のケンカ等々、毎日の「動き」に飽きることがない。

まだ残っていた「生命」に力をあたえてくれた曳舟川親水公園は、私が一生を共にする「親友」である。



思わぬ後押しで、思い切って三曲をレコーディングし、CDを作成した。全く思  
ってもいなかったことではあるが、「笑顔」をお届けするバンドを組んで約十五年。

緑化とバンドのボランティア活動の元気の源が、春夏秋冬を彩る親水公園。

マスクの下で、大きな口をあけて歌いながらの往復を、神様が下さった回復への、  
最高のプレゼントと「感謝」の毎日である。

富士冴ゆる 花鳥風月 静まりて

利根の風 受けつつ無心 若菜摘む

初御空 夢はかつしか 花暦

文子



## 白鳥4公園・環境緑化に参画して

### 第2ブロック 半田 建二

今年もコロナ禍で新しい仲間達との活動も思うようにできませんでしたが、今『SDGs』が当たり前になり出しています。

参画した頃は、花壇をきれいにすれば良いのかな位に思って作業に没頭するだけでしたが、今は違います、緑化を通じ街の人に”やすらぎ”と”心の豊かさ”を、お届けしながら『SDGs』に参画する、行動範囲は小さいですが行動しない限り良くはなりません。

\*バスを待つ人が花の美しさにつられ入園してくれます。

\*花の写真を撮りに見られる方もいらっしゃいます。

\*幼稚園の子供たちも花卉に触れ楽しそうに巡ってくれます。

わずかなスペースですが、それぞれがあり、手入れは益々気を抜けなくなっています。この欄を読んで私にもできそうだと思う人は是非参画下さい。

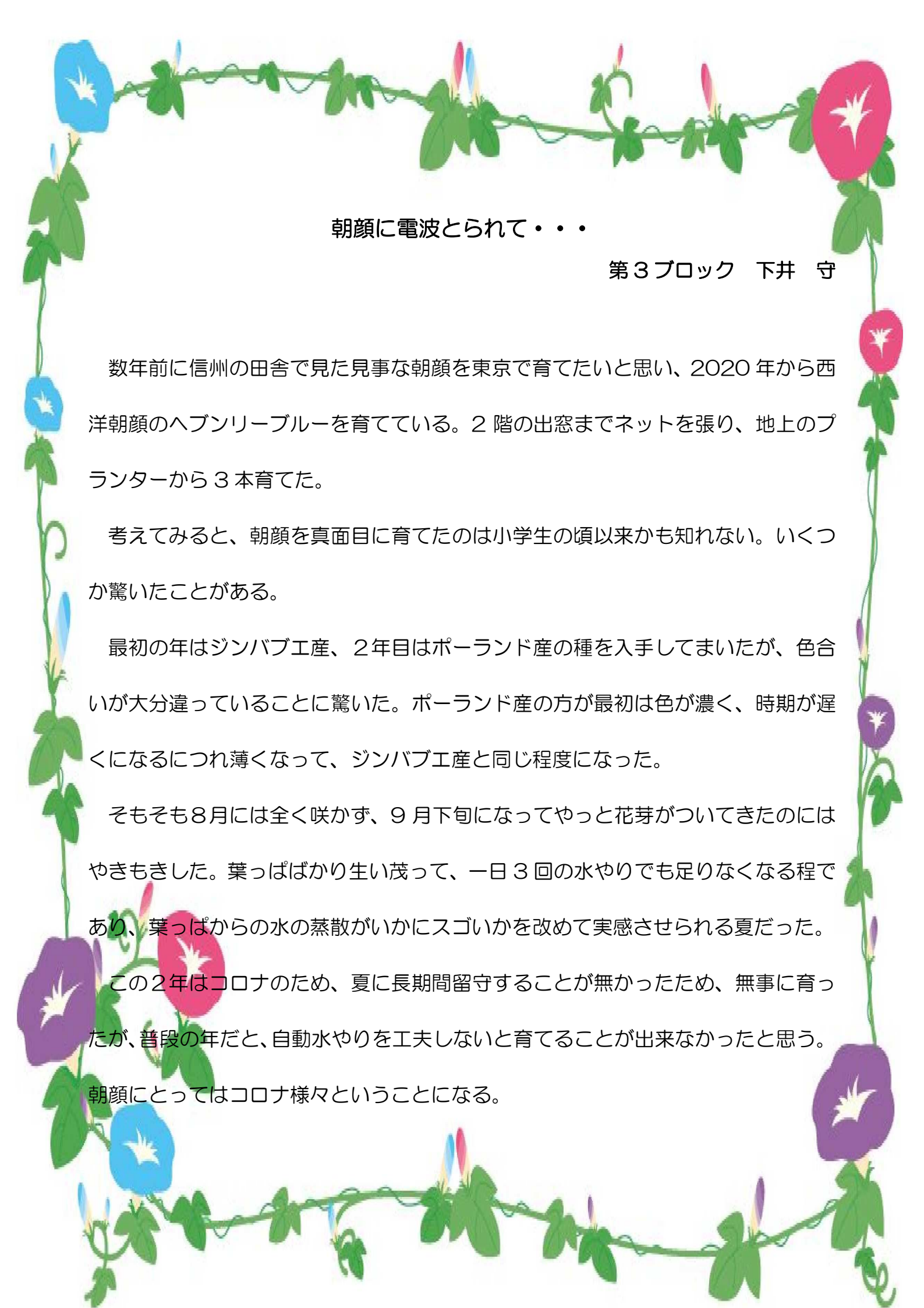
ボランティアです。自由に、気ままに、そして草花を通して学び直し、自分を表現してみたいがででしょうか？ 待ってます・・・



盛夏・満開のタイタンビガス



晩秋・黄金色の銀杏



## 朝顔に電波とられて・・・

### 第3ブロック 下井 守

数年前に信州の田舎で見た見事な朝顔を東京で育てたいと思い、2020年から西洋朝顔のヘブンリーブルーを育てている。2階の出窓までネットを張り、地上のプランターから3本育てた。

考えてみると、朝顔を真面目に育てたのは小学生の頃以来かも知れない。いくつか驚いたことがある。

最初の年はジンバブエ産、2年目はポーランド産の種を入手してまいしたが、色合いが大分違っていることに驚いた。ポーランド産の方が最初は色が濃く、時期が遅くなるにつれ薄くなって、ジンバブエ産と同じ程度になった。

そもそも8月には全く咲かず、9月下旬になってやっと花芽がついてきたのにはやきもきした。葉っぱばかり生い茂って、一日3回の水やりでも足りなくなる程であり、葉っぱからの水の蒸散がいかにスゴいかを改めて実感させられる夏だった。

この2年はコロナのため、夏に長期間留守することが無かったため、無事に育ったが、普段の年だと、自動水やりを工夫しないと育てることが出来なかったと思う。

朝顔にとってはコロナ様々ということになる。

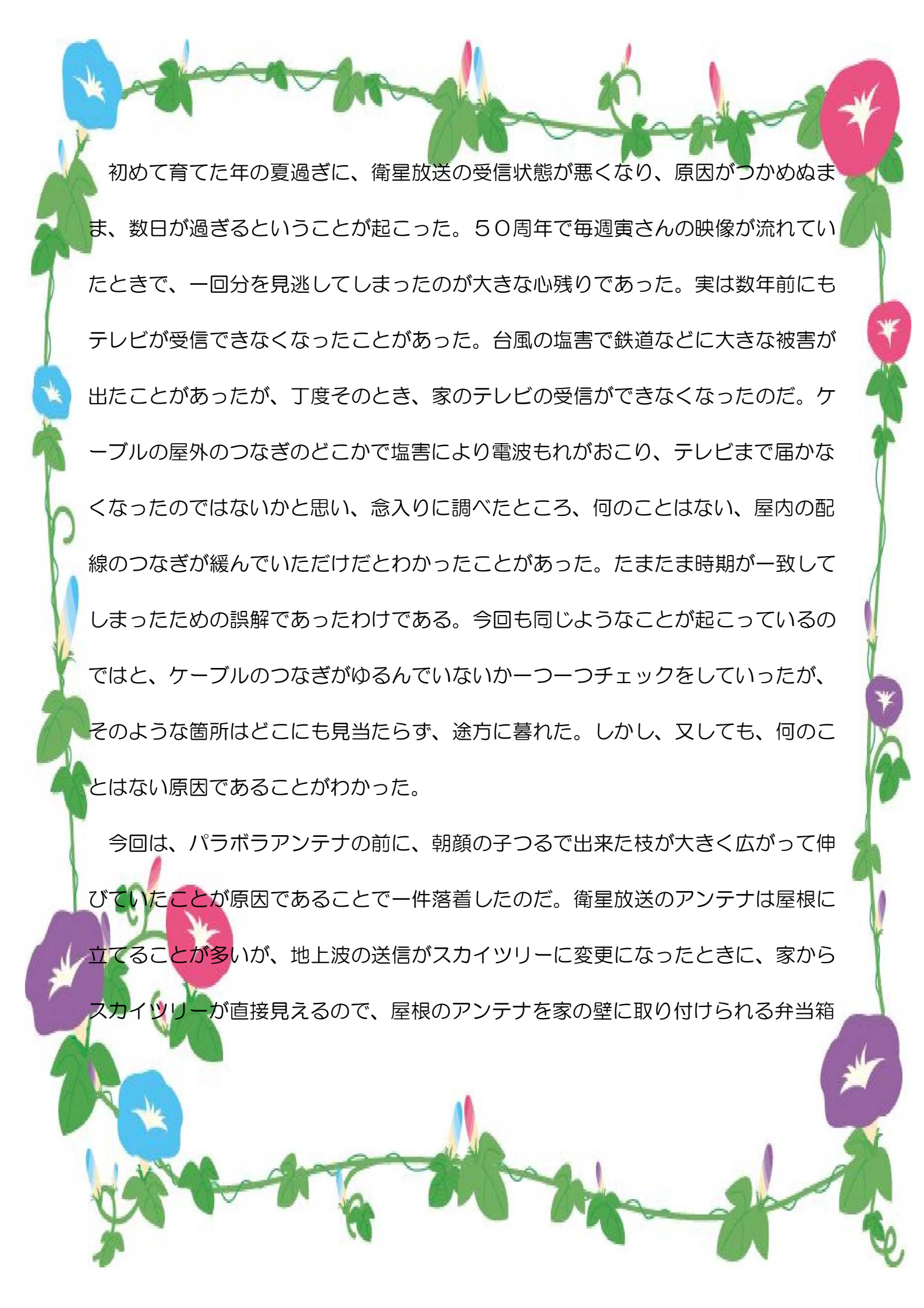


小学校の頃は夏休みに幾つ花が咲いたかを記録した覚えがある。夏に一つも咲かないのは西洋朝顔という品種のせいなのかと奇妙な気がしたが、あらためて歳時記をみると朝顔は秋の部に入れられていたことを知り、少し納得した。多分、小学校で育てる朝顔は、子ども達の夏休み観察用に品種を改良したものだろうと勝手に解釈している。



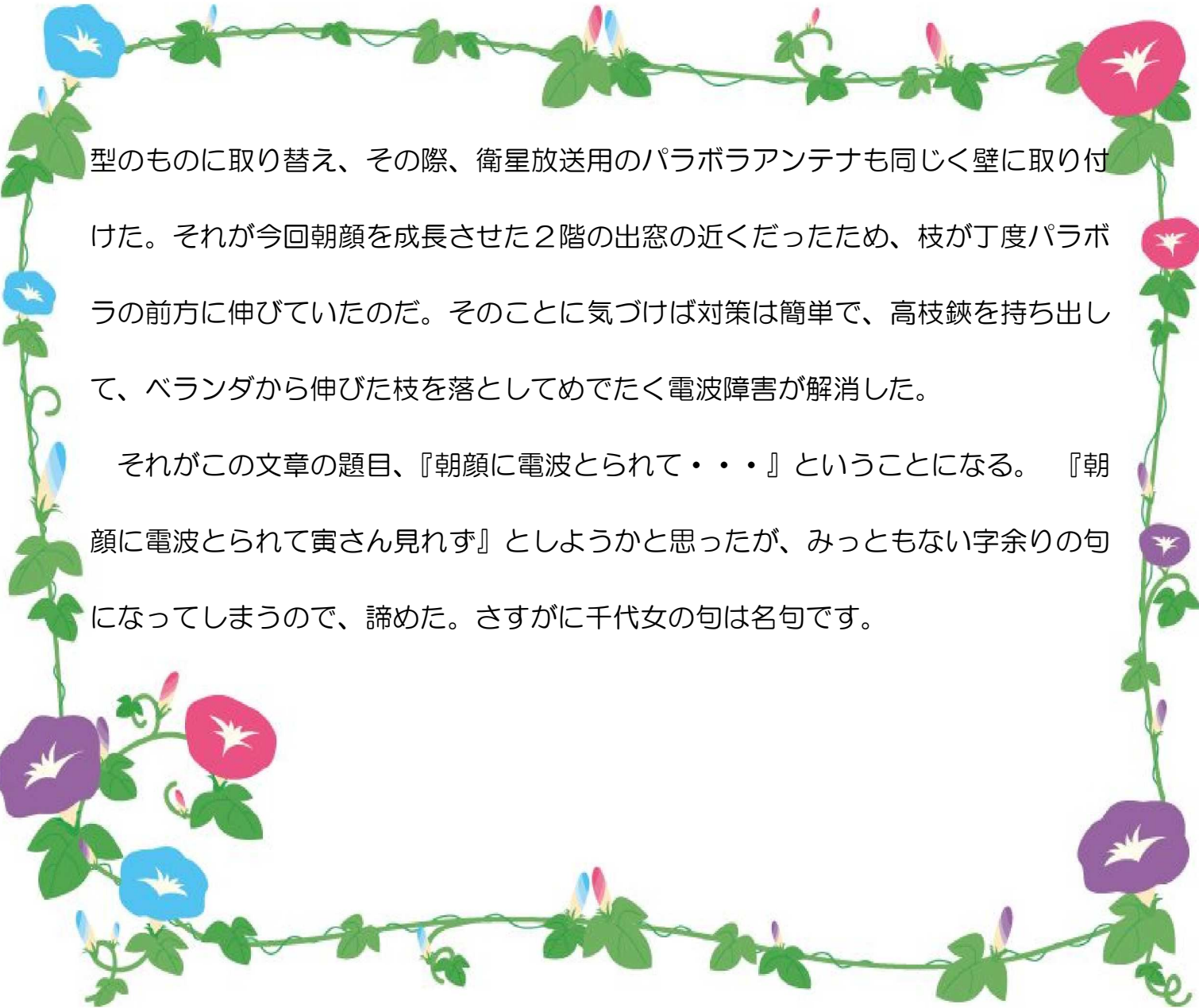
もう一つ驚いたのは、親つるから伸びた子つるの強さである。つる草は何かにしがみつからないと自立できないと思っていたが、子つるでもかなりしっかりと水平を保って伸びて行く。そればかりか、数本が絡んで横に延びると、丈夫な木の枝の様になり、しっかりと横に広がっていくことができることを知った。このことにより思わぬ影響が出る結果となった。





初めて育てた年の夏過ぎに、衛星放送の受信状態が悪くなり、原因がつかめぬまま、数日が過ぎるといことが起こった。50周年で毎週寅さんの映像が流れていたときで、一回分を見逃してしまったのが大きな心残りであった。実は数年前にもテレビが受信できなくなったことがあった。台風の塩害で鉄道などに大きな被害が出たことがあったが、丁度そのとき、家のテレビの受信ができなくなったのだ。ケーブルの屋外のつなぎのどこかで塩害により電波もれがおこり、テレビまで届かなくなったのではないかと思い、念入りに調べたところ、何のことはない、屋内の配線のつなぎが緩んでいただけだとわかったことがあった。たまたま時期が一致してしまったための誤解であったわけである。今回も同じようなことが起こっているのではと、ケーブルのつなぎがゆるんでいないか一つ一つチェックをしていったが、そのような箇所はどこにも見当たらず、途方に暮れた。しかし、又しても、何のことはない原因であることがわかった。

今回は、パラボラアンテナの前に、朝顔の子つるで出来た枝が大きく広がって伸びていたことが原因であることで一件落ち着いたのだ。衛星放送のアンテナは屋根に立てることが多いが、地上波の送信がスカイツリーに変更になったときに、家からスカイツリーが直接見えるので、屋根のアンテナを家の壁に取り付けられる弁当箱



型のものに取り替え、その際、衛星放送用のパラボラアンテナも同じく壁に取り付けた。それが今回朝顔を成長させた2階の出窓の近くだったため、枝が丁度パラボラの前方に伸びていたのだ。そのことに気づけば対策は簡単で、高枝鋏を持ち出して、ベランダから伸びた枝を落としてめでたく電波障害が解消した。

それがこの文章の題目、『朝顔に電波とられて・・・』ということになる。『朝顔に電波とられて寅さん見れず』としようかと思ったが、みっともない字余りの句になってしまうので、諦めた。さすがに千代女の句は名句です。

## 私のあこがれの花

### 第4ブロック 田中 アヤ

クリスマスローズは冬から早春にかけて開花する耐寒性の強い宿根草です。

2010年、趣味の園芸本で初めてクリスマスローズを知り私のあこがれる花になりました。

それでも機会もなく過ぎてしまいました。しかし、

2020年、秋冬花壇で区役所屋上でクリスマスローズを植えることが叶いました。下向きに花を

咲かせ、愛らしい、花びらの繊細さが際立ち、葉脈の強さ、厚さに喜びをこの手で感じました。

2020年、5月の掘り下げから一年、区役所職員の方々の手間を惜しまず育て管理していただきました。ありがとうございます。



2021年12月、秋冬花壇にクリスマスローズを植えました。

本来ですと2年～3年の株分けするのですが、1年で株分けをすることに挑みましたが、やはり株分

けた分、エネルギーの配分が屈折し、奇形がおこり花全体が小さくかわいそうに



思い、自分の知識の無さに責任を感じました。

2021年12月26日、クリスマスローズはそれでも太陽の光を受け威風凛々としていました。

「焦らず気長に、基本に忠実」であることが、これからもボランティア活動に活かしたいと思います。

クリスマスローズがとても好きになりました。



.....\*.\*.\*.\*.....



## 編集後記

コロナ禍の増大に、ただただ困惑するばかりです。感染対策を充分にしても、市中感染することもあるようです。こんな困惑を少しでも忘れるためには、「緑」や「花」を愛でて育てることです。緑や花を散歩しながら、見る事でも十分に「心の癒し」を持つこともできます。

人が生きるには、パンのみでは生きられません。生きていくことに「彩」を添えることが大切です。人として「心豊かさ」を添えることが必要なのです。心豊かな彩を添えるためには「緑」を求め・愛で・育成することが大切だと考えています。

どんな困難にあっても、変転極まりのない時代になっても、私は「緑化推進」の精神と活動を忘れないでいようと考えています。

1ブロック 佐々木 定治

.....\*.\*.\*.\*.....

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、いろいろな活動が出来ない中、原稿を寄せていただき、ありがとうございました!! コロナが終息しましたら「サギソウ」を見に茨城県自生復元地を訪ねてみたいと思います。

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....\*.\*.\*.\*.....

最近散歩中、梅の花が咲き、公園や道路脇の木の芽が膨らみ、花壇の花の芽が出ているのを見かけるようになりました。時季を感じながら、もうすぐ春と思うと心が温かくなります。我が家のプランターにも、昨年植えたチューリップや水仙の芽が出て賑やかな花の祭りの到来を思わせています。楽しみです。

3ブロック 江良 ヒデ子

.....\*.\*.\*.\*.....

社会はコロナ禍によって未だ落ち着きを取り戻せず、以前のライフサイクルを取り戻せるのはいつになるか見当もつきません。しかし、草木は咲く時がくれば花を咲かせ、実る時がくれば実をつけ種を作り、その営みを変えることはありません。そんな変わらぬものの存在に、否応なく変化を求められる生活の中で救われる思いがする昨今です。

今年もたくさん大変なニュースが世間を騒がすかもしれませんが、町のそこかしこでその時々花を咲かす草木が、きっとたくさんの人々の気持ちを和らげてくれる事でしょう。

4ブロック 直井 勝